



皆様、こんにちは、11月の当作業所の工事内容は、10月にひきつづき掘削発生土の搬出を行い、三次掘削が終了した箇所から地盤改良工事に入りました。

今回は、当建設地の地質と地盤改良工事についてお知らせいたします。

当建設地の地質は高野川の扇状地域であり、概ね砂礫(されき)の層で形成されておりますが上部砂礫層と下部砂礫層の間に挟まれるように粘性土や砂質土の層があります。(現状地盤から約6m~9m下)この比較的弱い粘性土と砂質土の層の部分を地盤改良致します。地盤改良の工法は、セメント系固化材と水を液状に調合し攪拌(かくはん)装置にて土と固化材を機械的に強制攪拌混合し所定の強度を出すという工法です。

搬出入車両が多く通行し、ご迷惑をお掛けしますが、細心の注意を払い安全最優先で工事を進めて参ります。皆さまのご理解、ご協力よろしくお願い致します。

全景写真

掘削残土搬出及び地盤改良工事



完成予想パース



地盤改良工事



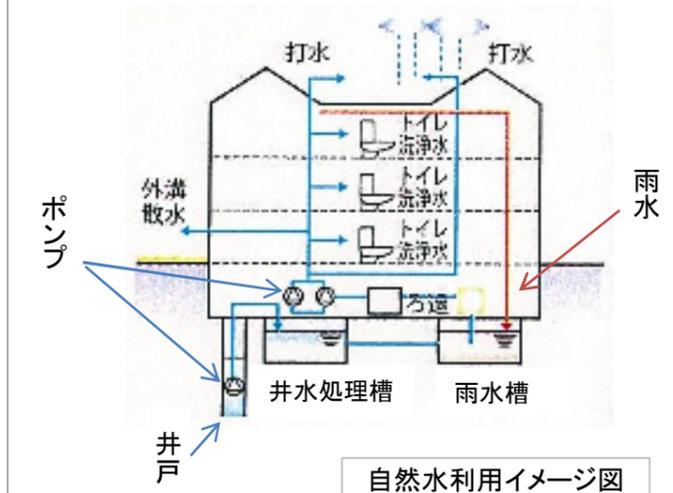
地盤改良工事
土と固化材を攪拌
している状況です。

攪拌ロッドです。
これで直径1200mm
の範囲を攪拌します。

井戸水の有効利用

左京区
シンボルマーク

当作業所では井戸掘削工事を先行して行い土留工事や地盤改良工事の用水として利用する他、仮設トイレの用水にも井戸水を有効利用しています。竣工後はこの井戸水と雨水を地下ピットに溜めてトイレの洗浄水や散水に利用したり、屋根面への打ち水に利用し、屋根の熱負荷を低減するとともに、循環させて自然水の有効活用を図ります。



北泉通りのプランターにビオラを植えました。
事務所にもビオラの鉢植えを置きました。

